

● 第2号議案 ●

私たちをとりまく情勢

1 世界の情勢(経済・政治)の特徴点

- ①世界経済危機からの復興は、国によって大きな格差が生まれています。アメリカや日本はいまだに深刻な不況に見舞われています。
- ②アメリカとイラン・アフガニスタンとの対外緊張関係が世界の不安定要素を拡大する可能性があります。
- ③国連安保理決議やNPT(核不拡散条約)再検討会議が契機となり、核廃絶に向けた大きな流れが実現する可能性があります。
- ④地球温暖化対策や環境、エネルギー問題、貧困や地域格差などが引き続き国際社会の重要課題となっています。

2 組合員のいのちと暮らしをめぐる情勢の特徴点

- ①外需頼みの日本経済は、賃下げや雇用調整などが続き内需は回復していません。
- ②政権交代が実現したことによって国民の意識が変化し、社会保障や暮らしを守る運動がさらに大きく前進する可能性があります。
- ③民主党を中心とした連立政権は、政策、財政、外交のあらゆる面で不安定であり、揺れ動く政権でもあります。社会保障、税金などのいのちと暮らしに関連する政策が相当変更する可能性があります。幅広く、機敏な運動を強めることが重要です。
- ④人口の高齢化や少子化への対策が不十分で、収入格差や地域格差が更にひろがる可能性があります。
- ⑤医師不足による診療縮小、倒産など経営危機と地域医療崩壊は進行し、このままでは医療機関の格差がひろがります。
- ⑥沖縄の基地問題が政権運営や参議院選挙に大きな影響を及ぼします。



健康まつりの健康チェック

3 医療・福祉をめぐる情勢の特徴点

- ①後期高齢者医療制度の廃止に伴う高齢者の新しい医療制度の論議が始まりましたが、4年後の見直しや年齢の引き下げでなく、いったん老人保健法に戻したうえで、本当に高齢者に適した医療サービスを提供するための制度づくりが必要です。
- ②2012年の診療報酬・介護報酬の同時改定に向けた論議が始まり、その結果が社会保障制度の将来像に大きな影響を持つため、抜本的な改善に向けた運動が必要です。
- ③2010年度の診療報酬改定は、薬価の引き下げが行われました。

調剤薬局の事業経営は薬剤師不足と相まって厳しくなることが予想されます。  
④医療、介護とも地域連携や包括的なケアシステムの構築が継続可能な地域医療福祉の結節点となります。

4 介護をめぐる情勢



介護保学習会

今年4月で介護保険法は丸10年経過しました。「介護保険の10年」は「構造改革の10年」でした。利用者・家族の生活や介護よりも「財政の論理」を優先させた徹底的な給付抑制方針のもとで、介護の取り上げや報酬引き下げ、基盤整備の総量規制が実施されました。創設時に掲げられた「介護の社会化」の理念は放棄され、家族介護の強要と介護の営利化・市場化が進行しており、「誰のための」「何のための」介護保険なのか正面から問われています。特別養護老人ホームへの待機者は42万人を超えています  
群馬県・渋川市で起きた高齢者施設の火災事故から一年が経った今も、介護が必要で経済的弱者である高齢者の受け入れ施設が東京では圧倒的に不足しています。大田区では認知症高齢者グループホームの建設がすんだことを理由に、東京都は緊急整備地域の指定を解除しました。「安心して住み続けられるまちづくり」の実践がいっそう重要になっています。これからの課題として、高齢者施設建設の補助金の増額、介護労働者の待遇改善、要介護認定制度の見直し、事業として成り立つ介護報酬の引き上げなど、引き続き制度の改善を求めていかなばなりません。

5 東京都をめぐる情勢～都政の転換にむけて～

石原都政の10年間は、日本の中で最も急進的先鋭的に新自由主義的「改革」が推進されたと言っても過言ではありません。老人福祉分野では、老人医療費への都独自補助金の削減、特別養護老人ホーム減、社会福祉法人が運営する民間老人ホームへの運営費補助金や格差是正補助金の廃止、都立養護老人ホームの縮小・統廃合、寝たきり老人への福祉手当の廃止など、都独自助成は縮小の一途です。その結果、予算に占める老人福祉費の割合は全国2位(99年)から最下位(08年)に転落しました。医療機関数も大幅減少、中でも、小児科、産婦人科の減少が著しく進んでいます。こうした状況にも関わらず、16の都立病院を半減すると公言し、すでに母子保健院が廃止され、豊島病院、老人医療センター、広尾病院が公社移管や独立行政法人化、センター化に動いています。さらに、母子保健の分野がきわめて深刻であるにも関わらず清瀬、八王子、梅ヶ丘の3小児病院の府中病院への統合を強行しました。救急医療でも、全国最長である救急車の搬入時間がさらに悪化しています。また、東京23区内だけで年間約3000人が誰にも看取られずに亡くなっており、孤独死問題も深刻です。  
都民生活に関わる社会福祉や教育などの分野を切り捨てながら、築地市場の移転、オリンピック招致、新銀行東京の設立、ワ

ひとりぼっちをなくし、住み続けられるまちづくりと仲間づくりでいっそう頼りになる保健生協づくりをすすめてみましょう

ンダーランドへ血縁者の厚遇などの恣意的な都政運営を進めてきました。2010年度予算では、1m1億円もする外郭環状線の推進などをはじめ10兆円規模の大型開発に予算をつき込む姿勢がさらにエスカレートしています。2011年の都知事選挙、いっせい地方選挙でいのちとくらしが優先される都政・区政に転換していきましょう。

中期計画3年目としての2010年度重点課題

- ①2ヶ所のグループホームと介護事業を軌道に乗せ、さらなる施設展開を目指し、安心して住み続けられるまちづくりをすすめる
- ②貧困と格差の是正がすすまない中で、無料低額事業を行う大田病院との連携を強め、よろず相談や青空健康相談会などでの相談活動を重視し、経済的理由での受診控えや自殺をなくす取り組みをひろげよう
- ③地域(購買)生協やNPO法人などとの連携を強めて、日常的に地域を見守るネットワークを上げ、いっそう頼りになる保健生協をめざそう
- ④社会保障の後退をくい止め、後期高齢者医療制度の即時廃止をはじめとした保健・医療・介護・福祉の改善をすすめる
- ⑤青空健康相談会、健康体操・ころぼん体操班、認知症サポーター養成講座、健康講座など、多彩な班会・学習会などを旺盛に開催し、地域・職域まるごと健康づくり運動をすすめる
- ⑥区民健診やがん検診をはじめとした自治体健診、アスベスト検診などの充実を求めて自治体への働きかけを強めよう
- ⑦平和憲法を守り、憲法9条、25条をくらしに生かす運動をすすめる



品川での認知症サポーター養成講座

【2010年度の分野別重点課題】

●● 保健教育活動 ●●

- 1. 保健活動の担い手づくり  
保健教室やサポーター養成講座の修了生が地域で活躍できるところまで育てるために、継続した働きかけをしていきます。特に、健康運動サポーター養成講座の修了生には、レベルアップしてもらうための講座を設定して受講をすすめ、簡単な健康体操、ころぼん体操などを指導できる人材の養成にとりくみます。
- 2. 班会・班づくり  
多彩な班づくりの教訓を全支部に広め、活発な班会活動を展開していきます。参加者の要求をもとに「MRIの話」「メタボの話」などの班会メニューの作成、講師派遣の要請にも応えて班会・班づくりを積極的にすすめていきます。
- 3. わくわくヘルスチャレンジのとりくみ  
第4回わくわくヘルスチャレンジを今年度こそ3ヶタの参加者で成功させ、健康な生活習慣を広めるとともに、班会でもとりいれて、楽しい健康づくりをすすめます。

- 4. 活発な健康チェック  
班会はもちろん、家庭などでも血圧測定などの健康チェックを活発にすすめていきます。早朝高血圧などの発見のためにも、家庭で血圧を自己チェックするのが大事になっています。自分の健康情報をファイルに綴じ、定期的に見直す「健康ファイル」の活用も検討していきます。
- 5. 活発な健診推進運動  
病気の早期発見・早期治療のために、自治体の健診受診を広めるとともに、大腸がん検診などもすすめていきます。

●● 介護福祉・助け合い活動 ●●

- 1. 昨年7月からスタートした大田病院の無料低額診療事業の制度の紹介や活用を、積極的にすすめていきます。
- 2. 昨年に引き続き、定例の委員会を毎月開催し、より一層活発な運営を目指します。
- 3. 認知症についての理解をより深めるために「認知症サポーター養成講座」などの取り組みを積極的に行い、「安心してくらしをまわす」に向けた活動をすすめます。
- 4. 今年も大田と品川で学習会を企画・実行し、助け合い、まちづくり運動を進展させていきます。

●● 文化・スポーツの活動 ●●

- 1. 委員会の定期開催を目指します。
- 2. ウォークラリー(2回)、バスハイク(2回)、ダンスパーティー(1回)、新春ハイキング(1回)、駅伝大会(1回)に取り組みます。また、組合員の誰でも気軽に参加できる「支部対抗輪投げ大会」のような行事や文化行事など新たな行事についても検討します。
- 3. それぞれの行事の内容についても委員会で検討し、より多くの組合員が参加できる楽しい行事を目指します。
- 4. 行事の宣伝・参加組織の方法などについて支部が主役となるような取り組みを強め、支部づくりに役立つ行事を目指します。



第7回品川健康まつり

●● 保健生協を強く大きくする活動 ●●

- 1. 2010年5月1日から新大田病院がスタートしました。この間の仲間増やし月間の経験を生かし、患者さん・利用者さんへの総当たりをはじめとして、青空健康相談会や行事の結びつきから仲間ふやしをすすめます。月間開始前の9月には城

南3法人の第2回活動交流集会を開催します。各支部目標は別表の通り、事業所ごとの目標は総代会までに提起します。  
2. 今年は15の支部の活動強化と再編成を課題とします。また、班会開催目標は別表の通り、「いつでも元気」「ComCom」拡大なども年間を通して取り組みます。  
3. 今年も「サマー増資」「年末増資」に取り組みます。

●● 平和とくらしを守る活動 ●●

- 1. 委員会活動の確立をめざし、組合員参加の活動を目指します。
- 2. 憲法9条、25条を活かした運動をすすめます。
- 3. 班会の中で、憲法・平和、医療制度、介護保険制度などの内容を盛り込み、学習したり、署名を広める運動をすすめます。
- 4. 後期高齢者医療制度の廃止を求めるとともに、社会保障の拡充を求め、組合員が主体となる運動を広げていきます。
- 5. 原水爆禁止世界大会、3.1ピキニデーに代表を派遣します。
- 6. 自治体との懇談や区内の各種団体との連携、共同行動などをねばり強くすすめます。

●● 経営活動と中期計画の具体化 ●●

相次ぐ介護保険制度の激変、薬価引き下げなどで、従来の延長線では組織活動を保障する財政基盤が困難になっています。あらためて保健・医療・福祉の複合体としての組織運営を中期計画に沿ってすすめていきます。

| 2010年度主な年間行事予定        |           |
|-----------------------|-----------|
| 春のバスハイク               | 4月25日(日)  |
| 春のウォークラリー             | 5月9日(日)   |
| 第8回品川健康まつり            | 5月15日(土)  |
| 映画「アンダンテ～稲の旋律～」上映会    | 5月27日(木)  |
| だれでもできる「健康体操教室」       | 6～7月      |
| 第35回総代会               | 6月19日(土)  |
| サマー増資月間               | 6～7月      |
| 大腸ガン検診月間              | 6月        |
| 班づくり月間                | 6月        |
| 海の合宿                  | 7月        |
| 全国鶴の木まつり              | 7月24日(土)  |
| 原水爆禁止世界大会             | 8月        |
| 第2回生協組合員活動と医療・介護活動交流会 | 9月        |
| 仲間ふやし月間               | 10～11月    |
| 第26回 大田・品川健康まつり       | 10月24日(日) |
| 秋のウォークラリー             | 11月       |
| 秋のバスハイク               | 11月       |
| 年末増資月間                | 12～1月     |
| 物品販売強化月間              | 12～1月     |
| 新春ハイキング               | 1月        |
| ダンスパーティー              | 1月        |
| 虹のバレンタイン行動            | 2月        |
| 駅伝大会                  | 3月        |

城南保健生活協同組合  
第35回 通常総代会  
● 2009年6月19日(土) 午後1時～午後5時  
● ところ：大田区・嶺町集会所 大集會室

